

令和8年6月1日

基本計画特別委員会

委員長 横山 勇太郎 様

基本計画特別委員会

総務分科会

主査 大桑 正 貴

## 分科会報告書

基本計画特別委員会に付託された案件について分科会で審査した概要を次のとおり報告します。

### 1 審査案件

(1) 市第1号議案 横浜市中期計画2026～2029の策定（関係部分）

### 2 主な質問項目

(1) 防災・危機管理統括本部関係

- ア 食料・飲料水備蓄量の目標値について
- イ 地震被害想定 of 更新について
- ウ 横浜市地震防災戦略の改定について
- エ 在宅避難者に対する支援について
- オ 地震防災対策における指標の進捗管理について
- カ 将来にわたって目指すべき姿について
- キ 在宅避難に係るシステム構築について
- ク 在宅避難者に向けた情報発信について

- ケ ペット避難について
- コ 避難所オペレーションについて
- サ 自宅の災害リスクについて
- シ 避難所における飲料水の確保について
- ス 在宅避難の名称について
- セ 民間宿泊施設の活用について
- ソ 政策指標及び施策指標の設定について

令和8年6月2日

基本計画特別委員会

委員長 横山 勇太郎 様

基本計画特別委員会

総務分科会

主査 大桑 正 貴

## 分科会報告書

基本計画特別委員会に付託された案件について分科会で審査した概要を次のとおり報告します。

### 1 審査案件

(1) 市第1号議案 横浜市中期計画2026～2029の策定（関係部分）

### 2 主な質問項目

(1) 行財政局関係

- ア 未利用等土地の適正化について
- イ 戦略的な人材育成について
- ウ 働きがいのある職場づくりについて
- エ AI活用による市民サービス向上について
- オ AI活用による業務効率化について
- カ 金利上昇によるリスクへの対応について
- キ 自治体システムの標準化について
- ク 人事制度について

- ケ D X化の推進について
- コ 公共施設の適正化について
- サ 業務のリ・デザインについて
- シ 職員の休職者数について

(2) 政策経営・国際戦略局関係

- ア 政策指標の設定について
- イ データ駆動型経営への本格移行について
- ウ 「市民の実感」について
- エ 市長のパワーハラスメント問題について
- オ アウトカム指標の設定について
- カ サーキュラーエコノミーの指標について
- キ 循環型都市への移行について
- ク 本市におけるグローバル都市の方向性について
- ケ 「市民目線」の考え方について
- コ 夜間照明の充足率について
- サ ネーミングライツについて
- シ 大都市制度における県との関係について

(3) 総務局関係

- ア 横浜市立大学附属2病院・医学部等の再整備等について
- イ 市長のパワーハラスメント問題について
- ウ 横浜市立大学附属2病院の跡地利用について
- エ 未収債権額の詳細について

令和 8 年 5 月 28 日

基本計画特別委員会

委員長 横 山 勇太朗 様

基本計画特別委員会

経済港湾分科会

主査 行 田 朝 仁

## 分 科 会 報 告 書

基本計画特別委員会に付託された案件について分科会で審査した概要を次のとおり報告します。

### 1 審査案件

(1) 市第 1 号議案 横浜市中期計画2026～2029の策定（関係部分）

### 2 主な質問項目

(1) 経済局関係

- ア 経済的活力に関する政策指標について
- イ ハーフカーボンの取組について
- ウ サーキュラーエコノミーの推進について
- エ 企業誘致について
- オ 地域産業の取組について

(2) にぎわいスポーツ文化局関係

- ア 猛暑を前提としたスポーツ環境の確保について
- イ MICE誘致における経済効果等について

- ウ にぎわい・スポーツ・文化における政策指標等について
- エ 三溪園の戦略的な活用、PR及びアクセスについて
- オ 海の公園を活用したスポーツの促進等について
- カ 宿泊税について

(3) 港湾局関係

なし

令和8年6月2日

基本計画特別委員会

委員長 横山 勇太郎 様

基本計画特別委員会

市民消防分科会

主査 伏見 幸枝

## 分科会報告書

基本計画特別委員会に付託された案件について分科会で審査した概要を次のとおり報告します。

### 1 審査案件

(1) 市第1号議案 横浜市中期計画2026～2029の策定（関係部分）

### 2 主な質問項目

(1) 消防局関係

ア 重点対策地域内の初期消火器具設置率100%の達成に向けた取組について

(2) 市民局関係

ア 多文化共生の取組の推進について

イ 火災等に被災した住民への区役所窓口における対応について

ウ 地域の担い手不足への対応について

(3) 資源循環局関係

なし

令和 8 年 6 月 1 日

基本計画特別委員会

委員長 横山 勇太郎 様

基本計画特別委員会

こども教育分科会

主査 麓 理 恵

## 分科会報告書

基本計画特別委員会に付託された案件について分科会で審査した概要を次のとおり報告します。

### 1 審査案件

(1) 市第 1 号議案 横浜市中期計画2026～2029の策定（関係部分）

### 2 主な質問項目

(1) 教育委員会関係

ア 中学校給食について

イ 教職員の働き方改革について

ウ 学校におけるカスタマーハラスメント対策について

エ 熱中症対策について

オ 教職員の未配置問題について

カ 不登校児童生徒の支援について

キ 教員の休憩時間の確保について

ク 防災対策について

- ケ 図書館サービスの充実について
- コ みなとみらい本町小学校について
- サ 教育用ネットワークについて
- シ 外国につながる児童生徒への日本語指導等について
- ス 水泳授業及びプール施設設置の考え方について

(2) こども青少年局関係

- ア こども誰でも通園制度及び一時預かり事業について
- イ 保育士の確保について
- ウ 若年女性の支援事業について
- エ 地域療育センターの相談事業について
- オ 障害児・者への切れ目のない支援について
- カ 困難な状況にあるこども・家庭への支援について
- キ 5歳児健診について

令和 8 年 5 月 28 日

基本計画特別委員会

委員長 横 山 勇太朗 様

基本計画特別委員会  
福祉分科会  
主査 斉 藤 伸 一

## 分 科 会 報 告 書

基本計画特別委員会に付託された案件について分科会で審査した概要を次のとおり報告します。

### 1 審査案件

(1) 市第 1 号議案 横浜市中期計画2026～2029の策定（関係部分）

### 2 主な質問項目

(1) 医療局・医療局病院経営本部関係

ア 生産年齢人口の減少に伴う医療従事者の不足や物価高騰等への対応について

イ 入院医療の市内完結率について

ウ がん精密検査の受診率について

エ 地域の実情に合わせた医療体制の構築について

オ 計画策定に当たっての医療関係者等との連携について

カ 喫煙・受動喫煙の減少に向けた医療局の取組について

キ がん対策における治療と生活・仕事の両立支援や患者への配慮としての緩和ケアの推進について

ク 予防医療の推進について

ケ デジタル・AI技術の向上に伴う情報・サービス利用格差への対策について

コ 現役世代のがん検診の受診率向上に向けた取組について

(2) 健康福祉局関係

ア 障害児・者やその家族への切れ目のない支援及び他局との連携推進について

イ 入所施設等への入所希望者の実態把握について

ウ インクルーシブスポーツの推進のための障害者の運動環境の確保について

エ 小児医療費助成に関する国への要望について

オ ひきこもりの新規相談件数増加に向けた取組について

カ 依存症支援者向け研修の質の向上について

キ インクルーシブなまちづくりの実現に向けたソフト・ハードの両面における課題について

ク 「合理的配慮の提供」に関する民間事業者への周知について

ケ 自殺死亡率の減少の目標値達成のための取組について

コ 高齢者の権利擁護に関する取組について

サ 安心して生活できる環境づくりのための課題認識について

シ インクルーシブ教育の拡充について

ス 特別養護老人ホームの待機期間の考え方及び目標達成に向けた手法について

令和8年5月28日

基本計画特別委員会

委員長 横山 勇太郎 様

基本計画特別委員会

GREEN×EXPOみどり分科会

主査 川口 広

## 分科会報告書

基本計画特別委員会に付託された案件について分科会で審査した概要を次のとおり報告します。

### 1 審査案件

(1) 市第1号議案 横浜市中期計画2026～2029の策定（関係部分）

### 2 主な質問項目

(1) 脱炭素・GREEN×EXPO推進局関係

ア 家庭系廃食油活用の取組について

イ 横浜グリーンエクスポの目標設定について

ウ カーボンニュートラル実現に向けた取組について

エ 循環型都市への移行に向けた取組における市民実感について

オ 運輸部門の二酸化炭素排出量について

カ EV用急速充電器設置の目標値について

令和8年5月29日

基本計画特別委員会

委員長 横山 勇太郎 様

基本計画特別委員会

GREEN×EXPOみどり分科会

主査 川口 広

## 分科会報告書

基本計画特別委員会に付託された案件について分科会で審査した概要を次のとおり報告します。

### 1 審査案件

(1) 市第1号議案 横浜市中期計画2026～2029の策定（関係部分）

### 2 主な質問項目

(1) みどり環境局関係

- ア 3つのZ00みらいプロジェクトについて
- イ 再生リンの活用について
- ウ プレイパークの取組について
- エ 公園のまちヨコハマの取組について
- オ 公園の配置計画の目標値と達成状況について
- カ 市民実感を高めるための取組について
- キ 中期計画の目標設定について
- ク 都市農業の取組について
- ケ （仮称）深谷通信所跡地公園の今後の状況について
- コ かんがい施設の基盤整備状況について

令和 8 年 6 月 1 日

基本計画特別委員会

委員長 横 山 勇太朗 様

基本計画特別委員会  
まちづくり分科会  
主査 長谷川 琢 磨

## 分 科 会 報 告 書

基本計画特別委員会に付託された案件について分科会で審査した概要を次のとおり報告します。

### 1 審査案件

(1) 市第 1 号議案 横浜市中期計画2026～2029の策定（関係部分）

### 2 主な質問項目

(1) 道路・交通政策局関係

- ア 市民の移動手段の確保と魅力ある移動空間の形成の目指す姿について
- イ 交通空白地の解消の取組について
- ウ 歩行者の交通安全対策の取組について
- エ バス運転士数充足率の考え方について
- オ 自転車通行空間の整備について
- カ 通学路でのこどもの交通安全を施策指標にしている理由について
- キ 外出が増加した地区数の考え方について
- ク シェアサイクル普及率の考え方について

- ケ 自動車駐車場事業費会計について
- コ まちづくりと一体となった交通ネットワークの構築や渋滞対策について
- サ 市内の主要渋滞箇所数について
- シ 誰もが安心できる移動手段の確保について
- ス 風水害対策の推進について
- セ 街路樹の維持管理について
- ソ 自動運転の本市での位置づけについて
- タ 都市計画道路の整備の進捗状況について

(2) 建築局関係

なし

(3) 都市整備局関係

- ア 都心臨海部・新横浜都心での来街者滞在時間数の考え方について
- イ 郊外部主要駅における来街者数の考え方について
- ウ 土地利用規制の見直しを通じた機能誘導の手法について

令和8年5月29日

基本計画特別委員会

委員長 横山 勇太郎 様

基本計画特別委員会

上下水道交通分科会

主査 大山 しょうじ

## 分科会報告書

基本計画特別委員会に付託された案件について分科会で審査した概要を次のとおり報告します。

### 1 審査案件

(1) 市第1号議案 横浜市中期計画2026～2029の策定（関係部分）

### 2 主な質問項目

(1) 下水道河川局関係

ア 河川管理における除草について

イ 横浜市下水道事業中期経営計画2026（原案）との内容の整合について

(2) 水道局関係

ア 送配水管の更新・耐震化について

イ 水道事業における財源確保について

ウ 水道事業を担う職員の育成について

(3) 交通局関係

ア バスネットワークの維持について

イ 市営バス・地下鉄を安心して利用できるかと答えた市民割合の評価について

ウ 職員を育成する環境づくりについて

エ 現行の採用試験制度導入以降の離職者数について

## 附帯意見（案）

今回の横浜市中期計画では、かねてより市会が強く求めてきた、4年間で取り組む政策の全体像やアウトカム指標など目標の明確化をはじめ、政策・施策のさらなる体系化、中期計画と初年度予算との連動、横浜の成長・発展を目指した骨太の方針化を実現したことは大きな前進である。

今後は、市政を取り巻く環境がかつてない速度等で変容していく中であっても、現状の課題解決に取り組みながら、「市民生活の安心・安全」と「持続的な成長・発展」を力強く前に進めるこの中期計画を実現するための実行力が求められる。

そのためには、二元代表制の下、本市会と市長等との間で信頼と緊張感のある関係を構築することが不可欠であるとともに、事業推進や行政サービスを担う職員一人ひとりが、市政への働きがいや市役所組織への帰属意識を高めることが重要である。

したがって、中期計画の推進に当たっては、以下の事項について特段の対応を図られたい。

- 1 中期計画の推進はもとより、物価高騰や昨今の中東情勢に起因する急激な経済環境の変化等への対応など、市民や事業者が直面する現場の声にしっかりと耳を傾けるとともに、その現場課題の解決に向けて、国等との連携や財源を確保しながら、適時適切に必要な対策を講じ、柔軟に取り組むこと。
- 2 中期計画の実現に向けて、計画全体に内包されている「市民目線の経営サイクル」や「計画と予算編成の連動」などに着実に取り組み、計画の実効性を高めること。その際、データに基づく計画推進・成果把握のみならず、データだけでは測ることのできない市民の思いや地域の課題等にも寄り添うとともに、職員の現場感覚・経験も大事にしながら効果的・効率的に進めていくこと。
- 3 横浜の成長・発展を目指し骨太の方針として位置付けた「明日をひらく都市プロジェクト」に掲げられた取組は、雇用の創出や税財政基盤の強化を図りながら、市民や事業者が将来に希望を持ち、次世代も横浜に住み続けたいと感じ

られる都市をつくっていく未来への挑戦である。その実現に当たっては、従来の枠組みにとらわれない大胆な発想の下、国はもとより多様な主体と積極的に連携しながら、全庁を挙げて取組を進めること。

- 4 中期計画は、本市において、市民生活や市内経済活動を支え、維持し、さらに発展させていく上で最も重要な行政計画であり、市長によるパワーハラスメント等の疑いのある事案とは、切り離して審議・審査すべきものである。一方で、中期計画の策定後、市が組織力を発揮して取組を推進するためにも、疑惑の真相究明を進めるとともに市長において説明責任を果たすこと。また、議員が率先して、ハラスメント防止に向け、条例制定を含む取組の検討を進めていることや、中期計画に「職員が働きがいを実感できる職場づくりの推進」が位置付けられていることを踏まえ、市当局においても、特別職の職務上の立場を踏まえた適切な対応を図るため、条例制定を含め必要な対応に取り組むこと。これらの取組等も含めて、市職員が個々の能力を最大限発揮でき、安心して働きがいをもって職務を行うことができる就業環境づくりを推進すること。